

## ○ 千葉県柏市

- 1 日 時 平成30年10月18日 午後2時～午後4時
- 2 場 所 柏地域医療連携センター
- 3 項 目 柏市における地域包括ケアシステムの取組み
  
- 4 経 緯 千葉県柏市の「豊四季台」は、市内の中でも高齢化率が極めて高く、建物の老朽化が激しくなった「豊四季台団地」の建て替えを契機に、行政だけでなく、各団体や東京大学などと調整を図り、医療をはじめとした「多職種連携」による支援で、地域包括ケアシステムの構築を進めており、「柏地域医療連携センター」はそのシステムの中核となっている施設である。
  
- 5 目的・特徴 柏市の「柏地域医療連携センター」は、柏市、東京大学高齢社会総合研究機構、UR都市機構の三者で協定を結び、その三者が中心となって、住民の意見を聞くために定例会や「顔の見える関係会議」というワークショップなどを重ね、意見交換や勉強会を積極的に進めた結果、住民や関係者の連携の機運が高まり、「地域包括ケアシステムの具現化」と「生きがい就労の創成」のふたつの方針を掲げ、「在宅医療」を中心に取り組んでいるという特徴がある。
  
- 6 課 題 急速に進展する高齢化の影響で、ますます在宅医療が必要な患者が増加することが予想されることや在宅医療に取り組む医師数が、現在30人いますが、近年伸び悩んでいることなどが懸念され、また、医療・介護職の人材育成が必要であると感じた。
  
- 7 展 望 留萌市の保健福祉と地域医療に対する政策内容や組織体制のあり方の検証、市と医師会の関係、留萌市と道内三医大、医師会との連携を強化するための取り組みなどについて検討していきたいと感じた。
  
- 8 感 想 各委員が作成した視察報告書に記載

○柏市 平成 30 年 10 月 18 日（木）午後 2 時～午後 4 時



（机上説明）



（屋外説明）



（兵庫県たつの市との合同説明）

## ○ 神奈川県茅ヶ崎市

- 1 日 時 平成30年10月19日 午前8時45分～午前11時
- 2 場 所 ハマミーナ出張所
- 3 項 目 官民連携による複合施設整備事業～浜見平地区複合整備事業～
  
- 4 経 緯 神奈川県茅ヶ崎市の「浜見平地区」は、市内の中でも住民の高齢化率が高く、集合住宅築後50年が経過し、建物の老朽化が進んでいた「浜見平団地」の建て替えに伴い、公共施設と民間施設が一体的に建設されましたが、その際、“エリアマネジメント”の活動を積極的に取り入れた戦略を展開していることから、その取り組みなどを学んだ。
  
- 5 目的・特徴 茅ヶ崎市の「ハマミーナ」は、市が実施した公募型プロポーザルの審査項目に「エリアマネジメントの提案」を採用し、特定エリアを単位に、民間が主体となってまちづくりを行っていました。更にその運営は、地元NPOと民間業者が協働して設立する非営利組織が担っているとのことで、市と市民をつなぐコーディネート役を果たしていた。
  
- 6 課 題 高齢者の単身世帯の増加や人口減少などに伴い、増加されることが予想される空き家対策などへの対応が求められる点であります。
  
- 7 展 望 財政課題に困窮する公共施設の建て替えには、PPPの導入など、いかに民間力を生かした連携を進めるかが鍵となることから、結果を絞り込まず、あらゆる可能性を検討する必要があります。また、住民の不安を払拭するためには、理解をしていただくための説明を根気よく続けることが、市民主体のまちづくりにつながるものと感じた。
  
- 8 感 想 各委員が作成した視察報告書に記載

○ 茅ヶ崎市 平成 30 年 10 月 19 日（金）午前 8 時 45 分～午前 11 時



(ハマミーナ外観)



(机上説明)



(室内見学)